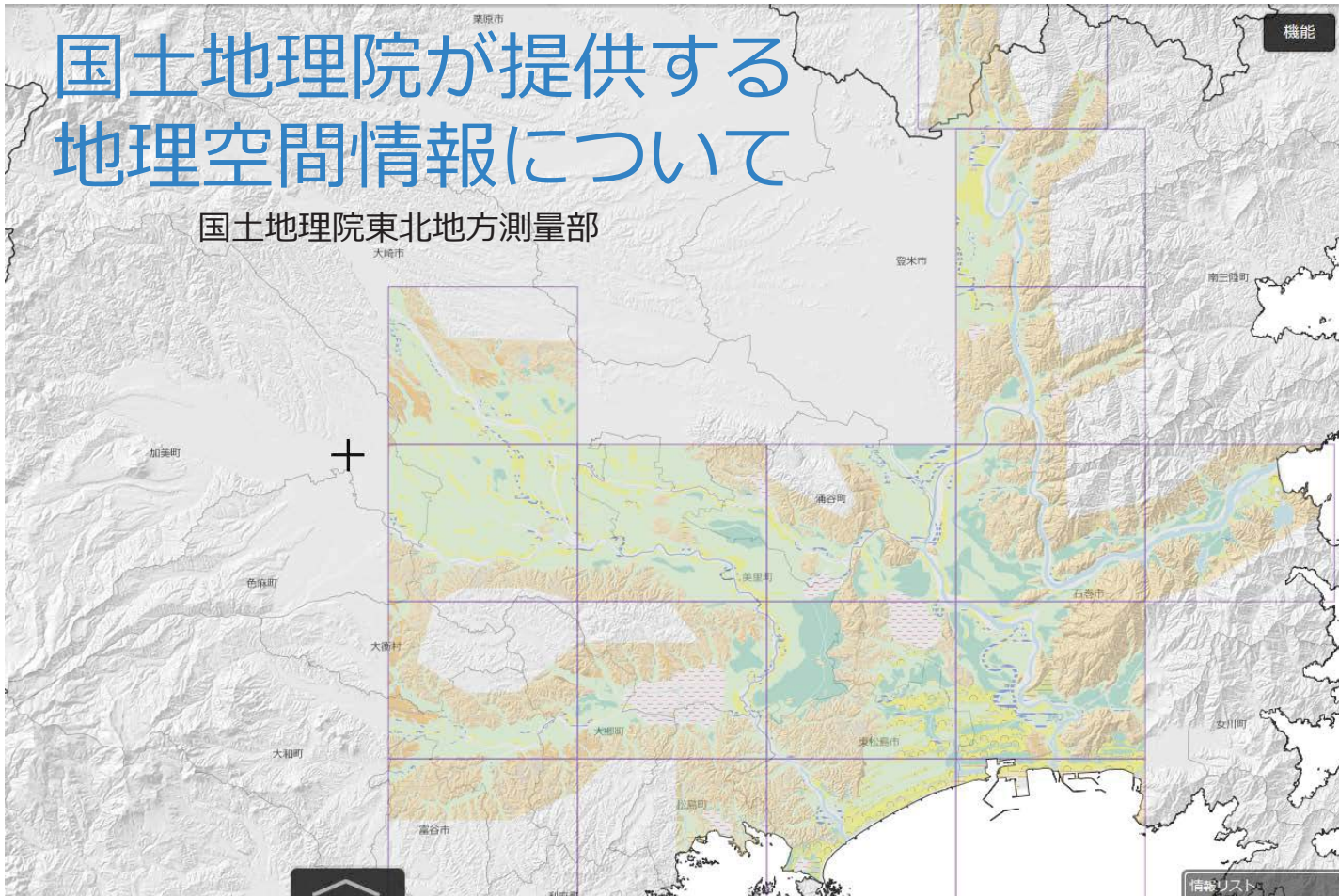


国土地理院が提供する 地理空間情報について

国土地理院東北地方測量部



 国土地理院

令和元年5月29日@石巻市 河南総合支所遊楽館

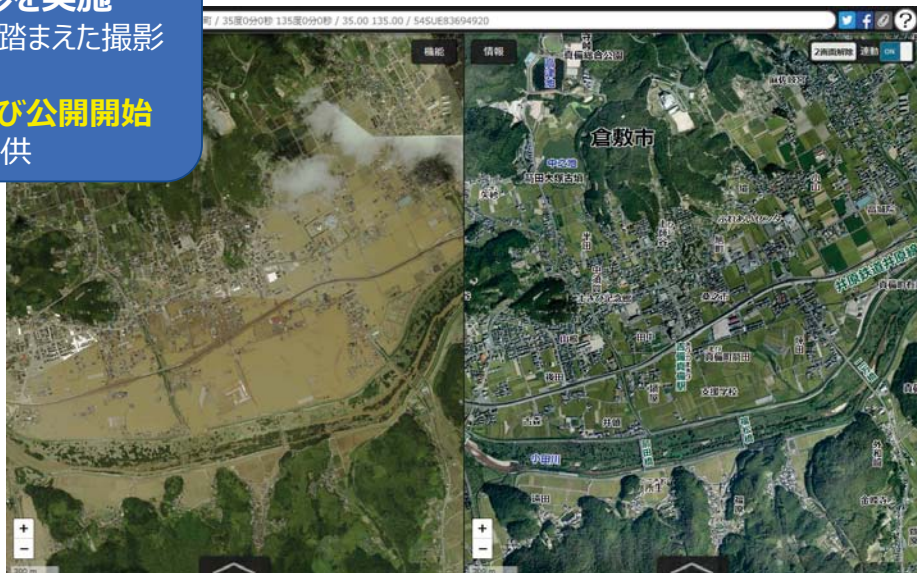
Geospatial Information Authority of Japan

災害対応時の空中写真の役割の拡大；応急対応後の活用 国土地理院

発災後に速やかに空中写真撮影を実施

- 被災した地方公共団体の要望を踏まえた撮影範囲を設定
- 撮影後、概ね1日で情報提供及び公開開始
- 簡易版、高解像度版の画像を提供

平成30年7月豪雨（倉敷市真備町付近）



“地理院地図”の2画面表示を用いた発災前後の空中写真の比較

平成28年熊本地震 （益城町役場周辺）



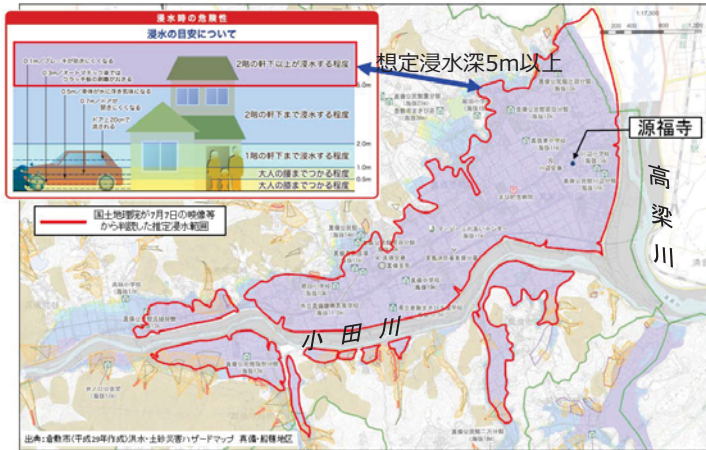
解像度20cm
（高解像度版）

＜主な活用事例＞

- 行方不明者捜索時の参考資料（警察・消防・自衛隊）
- 家屋や土砂崩壊による被害状況の把握（TEC-FORCE等）
- 災害査定資料（国土交通省）
- 罹災証明発行時の現況資料等（地方公共団体）

- 倉敷市（平成29年作成）の洪水・土砂災害ハザードマップと7月豪雨による浸水実績はほぼ一致
- ハザードマップでは、浸水深が5m以上（2階でも安全でない）と示されていた

- 土地の成り立ちと、先人が伝えてくれた災害履歴を組み合わせ地理院地図で提供
→災害を現実としてイメージ可能に



明治26年大洪水供養塔

明治26（1893）年旧暦9月、台風襲来により高梁川や小田川の堤防が決壊した。この大洪水による死者は2百余名と伝えられており、供養塔の頭部（矢印）は当時の水位を示している。

源福寺境内：岡山県倉敷市真備町
写真提供：中国地方整備局岡山河川事務所

旧河道（浸水・液状化のリスク）

氾濫平野（浸水・液状化のリスク）

高梁川

小田川

倉敷市ハザードマップ（平成29年作成）
平成30年西日本豪雨の浸水範囲を赤で追記

地形特性情報と災害履歴情報を「地理院地図」上で重ね合わせ

3

地形分類図（土地条件図・治水地形分類図等）

Web「地理院地図」で遊楽館周辺の治水地形分類図を見ながら自分で確認してみる

堤防の天端の標高は6.3mくらい

緊急避難場所の標高が4m他の方が良いか？

この避難経路だと大半が2m以下の低地

最寄の避難所まで2.5kmくらい、平坦な道だな

断面図

操作方法
地図上をクリック(タップ)して経路を指定
指定をクリア
又は既存のGeoJSON,KMLファイルを選択
参照... ファイルが選択されていません。

選択中の情報
初期状態に戻す
トップ>指定緊急避難場所
洪水
トップ>起伏を示した地図
陰影起伏図
トップ>土地の特徴を示した地図
治水
更新版(2007~2018年)
トップ>空中写真・衛星画像
全国最新写真(シームレス)
トップ>ベースマップ
白地図
グレースケール OFF

例えば、避難訓練の際に、職員の参集・避難経路の確認のツールとして



このサイトは、国・地方公共団体向けで、利用者からの申込による登録制です。

サイト利用の条件：
 ・IPアドレスによる制限
 ・ID・パスワードでのログイン

① ブラウザを起動してURLを入力
<http://geolib4lg.gsi.go.jp/>

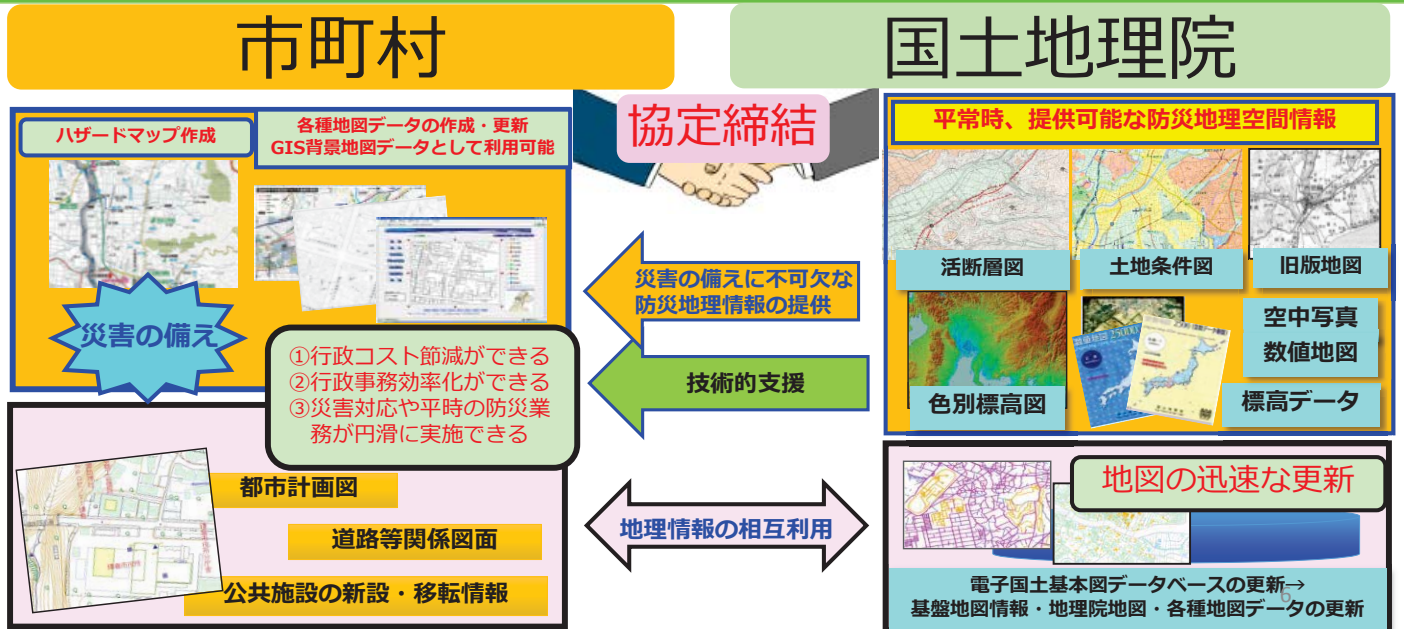
② ID・パスワードを入力して「OK」

③ 「旧版地図閲覧サイト」をクリック

④ 「旧版地図閲覧サイト」が起動

ご利用を希望する際は、右記メールアドレスあて連絡してください。 gsi-gp-team@gxb.mlit.go.jp
 【問い合わせ先】国土地理院地理空間情報部 電子国土調整官 電話 029-864-6873

地理空間情報の活用推進のための協力協定



地理空間情報ライブラリー
 Geospatial Information Library

フリーワードで探す: 住所から地図、空中写真を閲覧する

メニューから探す: 福島市

ホットなコンテンツ: 地理院地図 (電子国土Web), 基準点成果等閲覧サービス, 地理院地図Globe

地図・空中写真検索結果

福島県/福島市/杉妻町

空中写真 (1947, 1958, 1952, 1953, 1956, 1963, 1970, 1971, 1972, 1975, 1981, 1983, 1987, 1992, 1997, 2005, 2007, 2016), 公共測量地図 (2004, 2014), 1万地形図 (1984, 1999), 都市計画新編図 (1999), 2万地形図・複製図 (1891), 2.5万地形図 (1972, 1976, 1983, 1988, 1995, 1996, 1998), 尚武地形分類図 (1977), 2.5万土地利用図 (1976), 5万地形図・複製図 (1897), 5万地形図 (1908, 1925, 1931, 1949, 1952, 1960, 1968, 1973, 1974, 1977, 1986, 1989), 20万地形図 (1894, 1900, 1907, 1921, 1930, 1936, 1949, 1958, 1960, 1969, 1977, 1989, 1993, 2004, 2012), 20万土地利用図 (1982), 10万縮刷図 (近傍図) (1919), 基礎地図情報 (基本項目, 数値標高モデル (5m), 数値標高モデル (10m)), 地理院スタイル

関心領域にどのような地理空間情報があるか?

国土地理院では、本年6月から「地理院地図」において、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）の公開を開始します。

情報リスト

例：写真/標高/災害

OFF 表示範囲に絞込み

トップ

- 平成30年北海道胆振東部地震
- 平成30年7月豪雨
- 新着・注目
- ベースマップ
- 空中写真・衛星画像
- 起伏を示した地図
- 土地の特徴を示した地図
- 地図の更新情報や提供地域等
- 基準点・測地観測
- 地震、台風・豪雨等、火山
- 自然災害伝承碑**
- 指定緊急避難場所

新たにレイヤを追加

アイコンをクリックすると碑名や建立年が表示

表示をクリックすると写真や伝承内容が表示

水害碑

明治40年(1907)7月15日、数日未降り続いた豪雨により天地川や総領川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

災害種別 洪水、土石流
建立年 1910
概要 表示

※自然災害伝承碑を示すアイコン

※本イメージは現時点でのものです。公開時には若干の変更があり得ます。

秋田県能代市の事例



秋田災害忘れじの旅ある記 その5 能代市中川原にある水と緑と愛護の石碑【水田 敏彦】(25.5.15)

日本は地震大国で秋田県も例外ではありませんが、災害は地震だけでなく、もちろん、豪雨や台風による被害もあります。今回のコラムは、秋田県の水害に関する旅ある記です。

「当箇所は、昭和四十七年七月五日からの大雨による大洪水により、同九日十三時二十五分本堤防が八十七メートルにわたり決壊した箇所、それにより中川原地区の殆どの家屋が浸水し、流失するなどの大被害を被ったものである。よってこれからはこのようなことが二度と起こらないように、また地域に親しまれているこの米代川を、安全で美しく、いつまでも愛する心をもって頂くとともに、水と緑の街づくりを目指していくことを祈念して、この石碑を建立したものである。」

これは、能代市中川原にある「水と緑と愛護の碑」の碑文です。写真1がこの石碑で、1972年(昭和47年)米代川の洪水による「破堤の地」に建てられています。1972年米代川洪水は、7月5日から9日にかけて降り続いた豪雨によるものであり、米代川流域の降り始めからの雨量は、藤野川流域の駒ヶ岳で790mm、阿仁川流域の比立内で443mmを記録しました。この洪水により能代市中川原の堤防が9日午後1時過ぎに破堤、中川原地区は家屋や農地を流出し、大きな被害を受けました(写真2)。

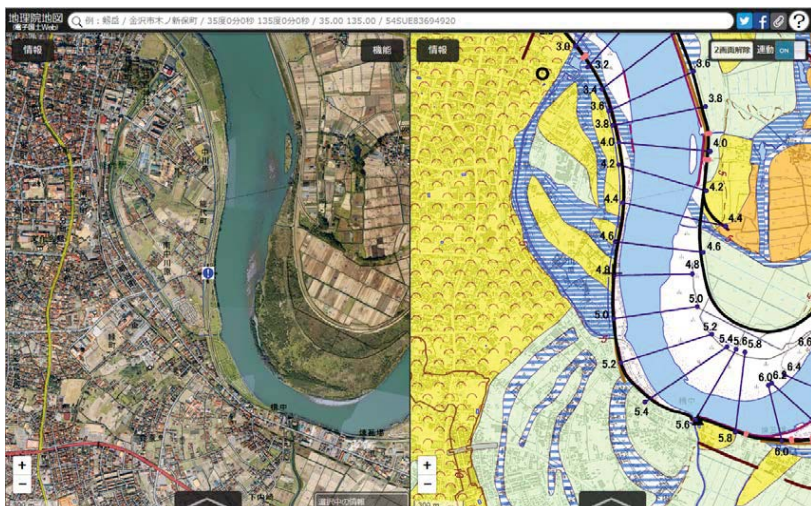
(秋田大学HPより)



写真1 能代市中川原にある水と緑と愛護の石碑【2013年5月(水田撮影)】



写真2 能代市中川原地区の洪水による被害【昭和47年7月米代川洪水体験談集(2002)より】



(GoogleMapより)